

募集要項

募集
締切

平成30年2月26日(月) ※詳しくはホームページをご覧ください。

受講
期間

平成30年3月28日(水)～9月28日(金)

時間：(演習) 9:30～16:30
(実習) 9:30～17:30
休日：土曜日、日曜日、祝日および当校が定める日
(一部の休日は正規の研修時間に充てられます)

受講
資格

中小企業診断士第1次試験合格者のうち以下の方
① 平成28年度及び平成29年度 第1次試験合格者
② 平成12年度以前の第1次試験合格者
(平成13年以降に第2次試験を受験した方、及び平成18年度以降に養成課程又は登録養成課程を受講した方を除く)

学費

一般：1,998,000円(消費税込)
機関派遣：1,458,000円(消費税込)
※実習の過程で発生する交通費・コピー代等は各自の負担
機関派遣とは、以下の機関から派遣される方
① 国および地方公共団体
② 中小企業支援法第7条第1項に規定する法人(都道府県中小企業支援センター等)
③ 中小企業関係団体(商工会議所、商工会、中央会、信用保証協会等)

札幌商工会議所養成課程のメリット

- 演習330時間以上、実習312時間以上という養成基準を満たした研修内容で、実践力が身につけやすい。
- 2次試験では、その年の試験問題の難易度等により翌年再受験となる可能性もあるが、登録養成課程の場合は、きちんと出席し真摯に研修に取り組む限り、ほぼ確実に資格が取得できる。
- 小樽商大などの教授や、経営コンサルタントとして第一線で活躍中の中小企業診断士から、最新の課題に基づく実践的な指導を受けることができる。
- 2次試験受験講座の教材にはないようなテーマも、実際に関わっている教授陣によるケーススタディやロールプレイングの体験を通して学ぶことができ、教授陣や受講生同士の人脈もできやすい。
- 梅雨がなく、真夏も過ごしやすい最適な環境で学習できる。
- 修了後のフォローアップ体制も充実。

滞在中の宿泊は

ホテルさっぽろ芸文館、ホテルレオパレス札幌等を斡旋予定

札幌商工会議所とは

商工会議所は「商工会議所法」に基づき設立された唯一の地域総合経済団体です。

札幌商工会議所は、中小企業を中心とした約2万社の企業が加盟しており、その規模は、東京、大阪に次いで全国第3位となっております。

北海道最大の経済団体として、地域の企業活動の支援と豊かなまちづくりのための事業を展開しています。

札幌商工会議所 中小企業診断士養成課程担当
The Sapporo Chamber of Commerce and Industry

〒060-8610 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター

TEL.011-261-6515

Eメール:s-yousei@sapporo-cci.or.jp

https://shindanshi-yousei.jp



■ JR札幌駅から徒歩約10分

■ 地下鉄大通駅から徒歩約5分

北海道初!

中小企業診断士 登録養成課程

2018年3月
札幌校
開校!!

6ヵ月学んで診断士を取得!



実施期間：平成30年3月28日(水)～平成30年9月28日(金)

募集締切：平成30年2月26日(月) ※詳しくはホームページをご覧ください。

札幌商工会議所
The Sapporo Chamber of Commerce and Industry

「中小企業診断士登録養成課程」とは…

中小企業診断士1次試験に合格した方が、中小企業診断士登録養成機関(札幌商工会議所等)が実施する所定の演習及び実習を修了することによって、

2次試験等を経ることなく中小企業診断士の資格を取得できる制度です。(平成12年通商産業省令第192号)

札幌商工会議所だから学べる実践ノウハウを習得

約2万社の会員を擁する商工会議所の基盤を最大限に活用し、
研修(演習・実習)を通じて、実践力の高いノウハウの習得を可能とします。

- (1) 中小企業支援団体の組織ノウハウ、ネットワークを反映した研修
- (2) 実務経験豊富な講師陣による最新の課題に応じた指導
- (3) 行政・関係団体等の最新施策情報を盛り込んだ研修
- (4) 修了生をサポートする充実のフォロー体制

第1次試験合格者

札幌商工会議所登録養成課程 受講・修了

中小企業
診断士
取得

経営診断
I

演習

(合計264時間)

思考法・経営戦略
生産戦略等

実習

(合計140時間)

流通業経営診断実習
製造業経営診断実習

経営診断
II

演習

(合計114時間)

創業・経営改革
企業再生等

実習

(合計210時間)

戦略・計画策定実習 I
戦略・計画策定実習 II
ソリューション実習

経営診断Iを踏
まえて、さらに
高度化した演習

戦略・経営計画
策定及び専門
性の高い実習

診断士に必要な
応用能力を修得
する演習

.....
コンサルティング
実務を学ぶため
の実習

一般的な受験による資格取得手段

この部分
に該当

1次試験
合格

2次試験
合格

診断実務
または
実務補習

中小企業
診断士
取得

カリキュラム

| 科目 | 単元 | 主な内容 |
|---------------------|----------------------------|---|
| 1. 経営戦略 | ①経営戦略の形成 | 代表的な経営戦略理論の特徴と、経営戦略を策定する基本ステップを学ぶ。 |
| | ②経営計画の策定 | 経営計画の立て方を学び、利益計画と資金計画の策定演習を行う。 |
| | ③計数マネジメント | 業種毎に重要となる管理指標を理解し、計数マネジメントの仕組み作りを学ぶ。 |
| 2. マーケティング・営業マネジメント | ①マーケティング戦略(流通業)営業マネジメント | 流通業におけるマーケティング戦略策定のための分析と、分析結果を踏まえたマーケティング戦略策定の演習を行う。 |
| | ②ロジスティクス | マーケティング戦略におけるロジスティクスの役割と、その価値について学ぶ。 |
| | ③マーケティング戦略(製造業)営業マネジメント | 製造業におけるマーケティング戦略策定のための分析と、分析結果を踏まえたマーケティング戦略策定の演習を行う。 |
| | ④製品開発戦略 | 製品戦略の目的を理解し、製品開発のための正しい態度や考え方を学ぶ。 |
| 3. 人材マネジメント | ①組織診断の進め方 | 経営目的・目標を達成できる組織風土へと改善するための考え方を学ぶ。 |
| | ②人材マネジメント計画 | 中小企業の人と組織における特質を理解し、課題解決のための人材マネジメントシステムを再構築するシナリオ策定の演習を行う。 |
| 4. 財務・会計 | ①財務分析の進め方 | 財務分析の結果を踏まえ、抽出された課題解決策を策定する演習を行う。 |
| | ①工場診断の進め方、工場管理の進め方、QC的問題解決 | 工場診断の流れや工場管理の進め方を理解し、QC的問題解決手法を学ぶ。 |
| 5. 生産マネジメント | ②生産マネジメント体系、現状分析の進め方 | 生産現場の現状分析のため、IE手法による分析結果の検討の仕方を学ぶ。 |
| | ③生産戦略の考え方 | 生産戦略の考え方と、生産形態毎の管理・改善のポイントについて学ぶ。 |
| | ④製造システムの管理・改善 | 工場診断・IE手法による分析結果から、生産形態別工程管理の要点を学ぶ。 |
| | ⑤管理システムの管理・改善 | 個別生産、大量生産における工程改善の手法と、原価管理の要点を学ぶ。 |
| | ①店舗施設マネジメントの進め方 | 店舗コンセプトの策定と、それを踏まえた店舗構成・設備計画の策定を演習する。 |
| 6. 店舗施設マネジメント | ①店舗施設マネジメントの進め方 | 店舗コンセプトの策定と、それを踏まえた店舗構成・設備計画の策定を演習する。 |
| | ②情報化支援の進め方(流通業) | 流通業の情報化課題解決のための、情報化企画書と提案依頼書の作成を学ぶ。 |
| 7. 情報化 | ②情報化支援の進め方(製造業) | 製造業の情報化課題解決のための、情報化企画書と提案依頼書の作成を学ぶ。 |
| | ①コンサルタントの思考法 | コンサルティングの土台となる問題発見・問題解決の思考スキルを学ぶ。 |
| 8. 助言能力 | ②コンサルタントのコミュニケーションスキル | コンサルティングの土台となるインタビューとプレゼンテーション技術を学ぶ。 |
| | ③コンサルティングプロセス | 中小企業の現状を踏まえた、コンサルティングの進め方(プロセス)を学ぶ。 |
| | 流通業経営診断 実習 | 上記1~8の演習で培った知識・スキルを基に、流通業の経営診断を行う。 |
| | 製造業経営診断 実習 | 上記1~8の演習で培った知識・スキルを基に、製造業の経営診断を行う。 |

| 科目 | 単元 | 主な内容 |
|----------------|----------------------|--|
| 1. 総合経営 | ①総合経営 | 販売・管理・開発・現業の各部門にまたがる経営上の課題について、経営戦略の策定を演習する。 |
| 2. 流通業・製造業総合 | ①流通業総合 | 流通業に対し全社的・総合的な分析結果を踏まえ、経営戦略を立案し、その実行策を提案する演習を行う。 |
| | ②製造業総合 | 製造業に対し全社的・総合的な分析結果を踏まえ、経営戦略を立案し、その実行策を提案する演習を行う。 |
| 3. イシュー毎の実務的助言 | ①創業・ベンチャービジネスモデル構築支援 | ビジネスモデル構築における成功要因の分析と、効果的な経営資源の確保・充実について学ぶ。 |
| | ②創業・ベンチャー助言能力養成 | 新規創業の窓口相談等における課題発見・解決のためのアドバイスについて、ロールプレイングを行う。 |
| | ③経営革新ビジネスモデル構築支援 | 経営革新体制の構築と、新商品の効果的な販売作戦の実践について学ぶ。 |
| | ④経営革新助言能力養成 | 経営革新の窓口相談等における課題発見・解決のためのアドバイスについて、ロールプレイングを行う。 |
| | ⑤企業再生 | 企業再生における法制度と、再生計画策定のプロセスについて学ぶ。 |
| | ⑥企業連携 | 企業連携の現状と課題を踏まえ、事例企業のとった戦略の是非を検討する。 |
| | ⑦国際化 | 海外進出や撤退の局面におかれた企業への、アドバイスのポイントを学ぶ。 |
| | ⑧観光分野 | 日本の観光競争力や観光地の動向を踏まえ、事例企業のとった戦略の是非について討議型演習を行う。 |
| | ⑨事業承継 | 親族内承継における経営者教育のポイントと出資金の評価方法、親族外承継における問題点と解決手法について学ぶ。 |
| | 経営戦略・戦略計画策定 実習 I | 経営診断 I 及び II の演習で培ったスキルを活用し、流通業の戦略策定実習を行う。 |
| | 経営戦略・戦略計画策定 実習 II | 経営診断 I 及び II の演習で培ったスキルを活用し、製造業の戦略策定実習を行う。 |
| | 経営総合ソリューション 実習 | サービス業も含めた様々な業種・業態の企業に対し、重点経営課題解決のためのプロジェクト計画を策定し提案する実習を行う。 |